

質問事項		記述式回答
経済再生と両立する財政健全化		
1	以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。 ①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革 ②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」	国民皆背番号制の徹底活用を目指すために、行政事務の効率化をもたらす背番号制の礎を国民同意のもとで導入することも考えるべき。背番号を導入した個人に、目に見えるインセンティブを付ける工夫をするのはどうか。住民票を交付している個人に配布するマイナンバー制導入に、国民側にとっての有益性を見えるようにすることは、住基ネットの普及が進まなかったことを踏まえ、一考すべき。また、無償のサービスがないことを最終的に打ち出す(公的サービスの有料化)ことをめざし、公的サービスの価格の可視化を意識する。たとえばごみ回収は、ごみ袋が有料な地域ほどごみの量が少ないという。この事例だけでもサービスの可視化を図ることで得られる効用はかなり大きいと言えよう。一方、子育て支援などに関しては、ばらまきから脱し実物支給に一本化するのはいかがでしょうか(給食代や遠足代など。必要経費を公費で賄う形。不必要な出資につながらない上、子供のいない世帯に不公平感ももたらさない)。健康ポイントは高齢世代のみならず、子育て世代にもあてはめ、一律無料ということではなく、病院支払いがない場合には健康ポイントを付加しなんらかの還元を図るように仕向ける。いずれにせよ、①国民にメリットがあるようなインセンティブを導入する、②公的サービスの質向上のため、すべてのサービスに”価格”を意識したものにする、ことから始めるべきではないか。
2	2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。	財政健全化堅持は最大のコミットメントと心得、実行していくべきことである。財政健全化目標について、PB目標から別のものへ切り替えることが最近メディア等で取り沙汰されるが、投資家目線では、日本政府に対する信用の低下につながることであり、望ましくない。仮に目標を変更する場合には、最低でもこれは達成するといったものを掲げ、政府のコミットメントの強さを示す必要はある。いずれにせよ、日本政府が財政健全化に対して強い意志を持っていることが主張できなければ日本国債、引いては日本国の信用は大きく毀損するリスクを伴う。道筋としては、安易な方向に動くのではなく、社会保障改革および消費増税の導入、ということになる。徴税については様々な方法を考えるべきだが、社会保障改革なくしてはいずれの方法も水泡に帰す可能性が高くなる。特に年金や医療といった手を付け難い問題について、積極的に切り込むことこそ、大事である。政治的な掌握力の強い現政権でこそ、その道筋がつけられると信じるし、その道筋の説明力が高ければ海外投資家の資金が更に日本に向かうことも期待できるのではないかと考える。